

インフルエンザ2004

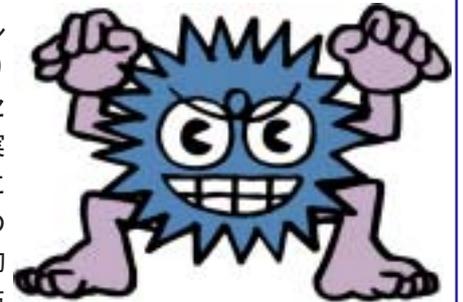
院長

先月、宮城県でもインフルエンザ警報が出ました。院長がテレビの取材を受けたので、ご覧になった方も多いかと思います。今回は、インフルエンザの話題について少し触れてみたいと思います。

以前インフルエンザの記事で、検査の話をしました。迅速検査と呼ばれ、わずか10分程度でインフルエンザの診断が可能で、検査のキットの種類にもよりますが、A型とB型の区別も可能です。確かに便利な検査なのですが、知っておきたい注意点もあります。検査はウイルス（抗原）を検出するものなので、ウイルス量が少ないとインフルエンザでも陽性に出ないこともあるのです。実際、「高熱が出たので検査してください。」と言われると、とても困ります。一般的には、発熱後12時間（少なくとも6時間）程度たたないと陽性に出ないと言われています。ですから熱が出た直後に検査しても、陽性にならないことがほとんどです。検査は後鼻腔まで綿棒を挿入して検査します。実際かなり辛い検査です。もちろんインフルエンザの治療は、早いに越したことはありません。そのためには早い診断が必要なのは言うまでもありません。しかし痛い思いをして検査しても陰性であれば、また痛い思いをして検査することになります。インフルエンザを疑っても陰性であれば、抗インフルエンザ薬を投与する訳にはいきません。となると確実な診断のためには、少し待つしかないのです。インフルエンザをあまりに心配し過ぎて、夜間急患センターに行っても、結局陰性ということになるのです。長い間待ってやっと検査、でも陰性。待っている間に具合が悪くなるのでは、何のための受診かわからなくなってしまいます。もちろん症状に注意が必要ですが、発熱のみでは一晩待って受診するのが良いかもしれません。

抗インフルエンザ薬についても少し考えてみましょう。こどもに用いられる抗インフルエンザ薬は2種類です。A型にのみ有効なアマンタジン（シンメトレル）とA、B型に有

効なオセルタミビル（タミフル）があります。しかし、オセルタミビルが動物実験の結果で1才未満に使わないようにとの勧告が出ました。動物実験で通常の投与



量の500倍を投与したところ、脳内へ高濃度の薬剤が移行したというものです。しかし、このような高用量が投与されることはないで、実際には問題になることはないと思います。しかし新聞でも取り上げられたため、心配する方も多いかもかもしれません。A型であればアマンタジンが使えますが、B型では他に薬剤がありません。B型の場合は、親御さんと良く相談の上、使用することの有用性が上回る場合は投与を考えたいと思います。

今年は従来と比べて、インフルエンザワクチンの効果が低い印象があります。ワクチンは前のシーズンや世界各地の流行状況を考慮して決定されます。しかし、インフルエンザウイルスは小さな変異を起こしやすいウイルスなので、変異の程度によってはワクチンの効果が落ちてしまうこともあります。確実ではありませんが、今回は変異が大きかったとも言われています。

ここでトリインフルエンザについても少しふれてみましょう。トリインフルエンザは特別な場合を除き、人に感染することはほとんどありません。またトリインフルエンザに感染した人から人への感染はないと考えられていました。しかし、最近人から人への感染が確認されるようになりました。しかし今の状況で、このウイルスが大きな伝染を引き起こす可能性はほとんどありません。でも、どうしてトリインフルエンザが問題になるのでしょうか。トリインフルエンザとヒトインフルエンザが同時に存在して、遺伝子の組み換えなどが起こり新型インフルエンザが生まれる可能性があるのです。人から人へ伝染する新型インフルエンザが流行すれば、世界中に拡大し、誰も免疫を持たないため大きな被害が予想されています。新型インフルエンザの発生を防ぐためにも、トリインフルエンザに対する十分な対応が必要なのです。

まだまだ、インフルエンザの季節です。今からでは、ワクチンによる予防は期待できません。人込みを避け、うがい手洗いを励行しましょう。マスクも有効な予防法の一つです。またバランスのとれた食事と十分な睡眠をとり、少しでもインフルエンザに負けない体を作りましょう。

スタッフ退職のお知らせ

事務スタッフの三浦君が退職することになりました。本当に長い間ご苦労様でした。

この度、一身上の都合により退職することになりました。いろんな事が思い出され、言葉が見つかりません... たくさんの思い出と出会い、そして学んだ事を胸に再出発します。8年という長い間、本当にお世話になりました。三浦 江理子

読者の広場

先月は26通のメールを頂きました。新年の挨拶の中から、泉区の原さんからのメールを紹介します。「おめでとうございますv(^ ^)v昨年は大変お世話になりました。原樹希と椋太の母です。毎月毎月 多いときは月に何度お伺いしたことが・・・(.)樹希の咳は相変わらずですが先生のおかげで咳込んで苦しそうな時でも薬や吸入でアタシなりに落ち着いて対処できるようになった一年だなぁ・・・なんて思っています。あとは回復に向かうのを気長に待つ事カナと。ちょっとした心配事で診察してもらっても 詳しく説明してもらえてかわむら先生のところに通えてよかったなと実感しています。今年も月に何度も通うようになると思いますがどうぞよろしくをお願いします。」。ありがとうございます。メール以外にも、たくさんの方から年賀状もいただきました。紙面を借りて、お礼を申し上げます。続いては太白区の仲田さんからのメールです。「中田彩水の母です。本当であれば、病院に伺った方が良いでしょうが、バスの乗り継ぎで1時間の道のりは治りかけの娘に負担をかけるのでメールにて失礼します。彩水の様子ですが、24日の土曜日に伺ってから体温も36.1度になり、落ち着いています。咳もタンが絡んでいますが、苦しくて叫ぶこともなくなりました。夜中に苦しくて起きていたのも無くなりました。鼻水はツーンと透明のものが垂れてきますが、時期に直ると思っています。お薬も点滴前から見ると愚図って嫌々しますが、きちんと飲んでくれているので安心してしています。今回の彩水の風邪は、今までにかかったことのない苦しさだったと思います。それに、少しのおしゃべりが出来るくらいできちんと相手に伝わらないもどかしさもあったと思います。そんな時だからこそ、母親は子供の気持ちを察してあげないといけないと感じさせられました。また、病気を治す病院もきちんと選ぶのも母親の大事な役目だと思います。始めて先生の病院にお世話になった次の日、中米さんからお電話を頂きました。心配で電話をして頂いたのには驚きと嬉しさ、一番に不安を取り除いてもらいました。そして、今回もお電話を頂きました。ありがとうございました。彩水も病院に行くよって言うと具合が悪いのにもかかわらず元気になってしまいます。不思議パワーの「かわむらこどもクリニック」。これからも病気の時にはたくさんお世話になりますのでよろしくをお願いします。」。通院のために1時間をかける、本当に頭が下がる思いです。病院へ来るとお子さんが元気になる、これは病院のパワーもさることながら、病院へ来てお母さんが安心するのを子どもがちゃんとわかっているのですよ。もう一つ泉区の岩本さんからのメールです。「29日は大変お世話になりました。岩本日花里の母です。ひかりはすっかり回復して、いつもの元気印に戻りました。今回は親子ともども、初めての事でよい経験になりました。あのひかりが、半日も点滴のお世話になる時が来るとは夢にも思いませんでした。本人もこんなに苦しい思いをしたのは初めてで、ずい分とわがママを言い大変ご迷惑をおかけしました。特に、佐藤さんにはとても良くして頂き、感謝の念に耐えられません。どうぞよろしくお伝えください。翌日には、婦長さんからもご心配の電話を頂き、重ね重ねありがとうございます。電話までしてくれる病院は、他にはありません。さすが、かわむらクリニックですね。(電話の件を話すと、友達や、夫に驚かれます。)小学校に上がってからは、あまり風邪もひかず遠ざかっていましたが今年は年の初めから、咳でお世話になっています。なんだか今年は、度々お世話になりそうな予感がして来ました。インフルエンザ警報が出て、お忙しいでしょうがよろしくお願ひいたします。先生、看護婦さんの皆様、先週は大変お世話になりました。」。対応へのお言葉ありがとうございます。皆の励みになります。このようなメール送ってくれるのは、さすがかわむらこどもクリニックの患者さんですね。



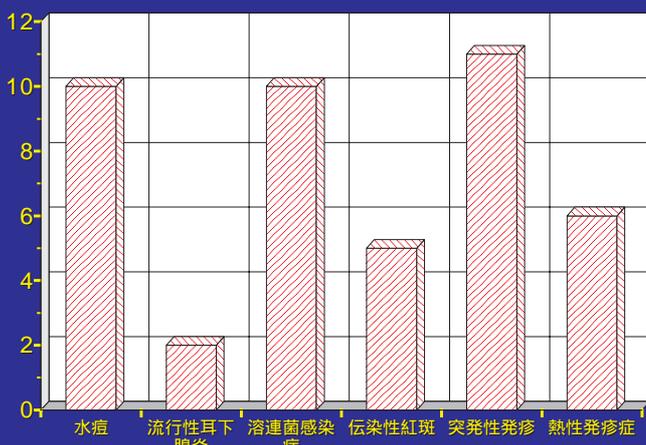
以前に投書のあった、駐車場の段差、駐輪場、トイレの便座を改善しました。少しでも便利になるように努力していきたいと思ひます。御要望があれば、投書やメールをお寄せください。可能なかぎり対応したいと思ひます。

雑誌掲載のお知らせ

ひよこクラブ 3月号(2月15日発売) 「ドクターの説明解決ファイル」

小児科を受診したとき、ドクターがママたちへの説明でよく使われる言葉のもつ意味をわかりやすく解説していくのがねらいです。具体的には「2、3日安静に」という場合の「安静」とはどんなふうに通せばいいのか、「しばらく様子を見ましょう」の「しばらく」とはどのくらいか、などママたちが実際にどんな状況で言われたかを踏まえてその言葉が含む意味を考えてみます。結構ページ数は多くなります。えう、御期待!!。

1月の感染症の集計



水痘は相変わらず、多く見られています。溶連菌感染症は多く見られていますが、減少傾向です。おたふくも減少傾向です。グラフに示していませんが、インフルエンザは138例でした。1月28日に宮城県でもインフルエンザ警報が出されました。今のところ検出されているのは、A型のみです。これから益々増加しそうなので、注意が必要です。

編集後記

今回は、残念なお知らせがあります。長い間受付を担当した、三浦君が退職します。すっかり病院の顔となっただけに残念です。残ったスタッフ一同、改めて努力していきたいと思ひます。新しいスタッフが入ります。今までの三浦君と同様、よろしくお願ひ致します。

